

令和7年7月上旬の果樹巡回調査結果の概要について

【東北信】 巡回日 7月4、7、9日

1 りんご（東信3ほ場、北信8ほ場）

- (1) 褐斑病は、北信1ほ場で発生がみられ、発病果そう率0.7%であった。
- (2) 黒星病の発生はみられなかった。
- (3) 斑点落葉病は、東信3ほ場、北信5ほ場でみられ、発病葉率は0.2～5.7%であった。
- (4) リンゴハダニは、北信1ほ場で、成若幼虫の寄生および産卵がみられた。
ナミハダニは、北信1ほ場で、成若幼虫の寄生および産卵がみられた。
リンゴサビダニの寄生はみられなかった。

2 ぶどう（東信1ほ場、北信5ほ場）

- (1) ベと病の発生はみられなかった。
- (2) さび病の発生はみられなかった。
- (3) 黒とう病の発生はみられなかった。
- (4) チャノキイロアザミウマの被害葉はみられなかった。

3 もも（東信2ほ場、北信4ほ場）

- (1) せん孔細菌病は、東信2ほ場、北信4ほ場で発病葉がみられ、発病葉率は0.1～3.0%であった。果実への発病はみられなかった。
- (2) モモハモグリガの被害葉はみられなかった。
- (3) ハダニ類の寄生は、北信1ほ場でみられ、寄生葉率は50%であった。
- (4) クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (5) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

【中南信】 巡回日 7月3、4、7日

1 りんご（南信5ほ場、中信6ほ場）

- (1) 褐斑病、黒星病の発生はみられなかった。
- (2) 斑点落葉病の発生が中信2ほ場でみられた。
- (3) リンゴハダニは、南信1ほ場で成若幼虫の寄生がみられた。
ナミハダニは、南信2ほ場、中信1ほ場で成若幼虫の寄生がみられた。
リンゴサビダニの寄生はみられなかった。

2 なし（南信8ほ場、中信1ほ場）

- (1) リンゴハダニの寄生はみられなかった。
ナミハダニは、南信2ほ場で成若幼虫の寄生がみられた。

3 ぶどう（中信4ほ場、南信2ほ場）

- (1) さび病の発生はみられなかった。
- (2) ベと病の発生はみられなかった。
- (3) 黒とう病の発生はみられなかった。
- (4) チャノキイロアザミウマの被害葉はみられなかった。

4 もも（南信 1 ほ場、中信 2 ほ場）

- （1）せん孔細菌病は、南信 1 ほ場、中信 1 ほ場で発病葉がみられた。発病葉率はそれぞれ 0.3%、8.5%であった。
- （2）モモハモグリガの被害葉はみられなかった。
- （3）ハダニ類の寄生はみられなかった。
- （4）クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- （5）モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

5 かき（南信 3 ほ場）

- （1）うどんこ病の発生はみられなかった。
- （2）炭疽病、円星落葉病の発生はみられなかった。
- （3）カキクダアザミウマ（アザミウマ類）、カキノヘタムシガ、ハマキムシ類、フジコナカイガラムシ（カイガラムシ類）の発生は、みられなかった。

【侵入警戒病害虫】

りんご、なしの調査ほ場において、火傷病、コドリングアの発生は、いずれもみられなかった。